

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和2年1月30日(2020.1.30)

【公表番号】特表2019-503674(P2019-503674A)

【公表日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-006

【出願番号】特願2018-531259(P2018-531259)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/13	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)
C 1 2 N	15/63	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/13	Z N A
C 0 7 K	16/28	
C 1 2 N	15/63	Z
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/10	
C 1 2 P	21/08	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	35/04	
A 6 1 P	31/00	

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月11日(2019.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

**【請求項 1】**

(a) 配列番号3もしくは4に記載されているアミノ酸配列を含む免疫グロブリン鎖のV<sub>L</sub>ドメインのCDR1、CDR2およびCDR3、ならびに/または

(b) 配列番号1もしくは2に記載されているアミノ酸配列を含む免疫グロブリン鎖のV<sub>H</sub>ドメインのCDR1、CDR2およびCDR3

を含む、ヒトL A G 3に特異的に結合する抗体またはその抗原結合性フラグメント。

**【請求項 2】**

(1) アミノ酸配列8を含むCDR-L1、  
アミノ酸配列9を含むCDR-L2および

アミノ酸配列10を含むCDR-L3

を含む軽鎖可変ドメインならびに

アミノ酸配列5を含むCDR-H1、

アミノ酸配列6を含むCDR-H2および

アミノ酸配列7を含むCDR-H3

を含む重鎖可変ドメイン、または

(2) アミノ酸配列14を含むCDR-L1、  
アミノ酸配列15を含むCDR-L2および

アミノ酸配列16を含むCDR-L3

を含む軽鎖可変ドメインならびに

アミノ酸配列11を含むCDR-H1、

アミノ酸配列12を含むCDR-H2および

アミノ酸配列13を含むCDR-H3

を含む重鎖可変ドメイン

を含む、請求項1記載の抗体または抗原結合性フラグメント。

**【請求項 3】**

(1) 配列番号3に記載されているアミノ酸配列に対して少なくとも90%のアミノ酸配列同一性を有するアミノ酸配列を含む軽鎖免疫グロブリンおよび配列番号1に記載されているアミノ酸配列に対して少なくとも90%のアミノ酸配列同一性を有するアミノ酸配列を含む重鎖免疫グロブリン、または

(2) 配列番号4に記載されているアミノ酸配列に対して少なくとも90%のアミノ酸配列同一性を有するアミノ酸配列を含む軽鎖免疫グロブリンおよび配列番号2に記載されているアミノ酸配列に対して少なくとも90%のアミノ酸配列同一性を有するアミノ酸配列を含む重鎖免疫グロブリン

からなる群から選択される軽鎖免疫グロブリンおよび重鎖免疫グロブリンを含む、ヒトL A G 3に特異的に結合する抗体またはその抗原結合性フラグメント。

**【請求項 4】**

(1) 配列番号3のアミノ酸配列を含む、および配列番号3に記載されているアミノ酸配列に対して少なくとも90%のアミノ酸配列同一性を有するアミノ酸配列を含む免疫グロブリンのCDR-L1、CDR-L2およびCDR-L3を含む軽鎖免疫グロブリン、ならびに配列番号1のアミノ酸配列を含む、および配列番号1に記載されているアミノ酸配列に対して少なくとも90%のアミノ酸配列同一性を有するアミノ酸配列を含む免疫グロブリンのCDR-H1、CDR-H2およびCDR-H3を含む重鎖免疫グロブリン、または

(2) 配列番号4のアミノ酸配列を含む、および配列番号4に記載されているアミノ酸配列に対して少なくとも90%のアミノ酸配列同一性を有するアミノ酸配列を含む免疫グロブリンのCDR-L1、CDR-L2およびCDR-L3を含む軽鎖免疫グロブリン、ならびに配列番号2のアミノ酸配列を含む、および配列番号2に記載されているアミノ酸配列に対して少なくとも90%のアミノ酸配列同一性を有するアミノ酸配列を含む免疫グロブリンのCDR-H1、CDR-H2およびCDR-H3を含む重鎖免疫グロブリンを含む、請求項3記載の抗体または抗原結合性フラグメント。

**【請求項 5】**

該配列同一性が少なくとも 9 5 %、9 6 %、9 7 %、9 8 %、9 9 %または 1 0 0 %である、請求項 3 又は 4 に記載の抗体または抗原結合性フラグメント。

**【請求項 6】**

( 1 ) 配列番号 3 に記載されているアミノ酸配列を含む軽鎖免疫グロブリンおよび配列番号 1 に記載されているアミノ酸配列を含む重鎖免疫グロブリン、または

( 2 ) 配列番号 4 に記載されているアミノ酸配列を含む軽鎖免疫グロブリンおよび配列番号 2 に記載されているアミノ酸配列を含む重鎖免疫グロブリン、または

( 3 ) 配列番号 2 2 に記載されているアミノ酸配列を含む軽鎖免疫グロブリンおよび配列番号 2 1 に記載されているアミノ酸配列を含む重鎖免疫グロブリン、または

( 4 ) 配列番号 2 4 に記載されているアミノ酸配列を含む軽鎖免疫グロブリンおよび配列番号 2 3 に記載されているアミノ酸配列を含む重鎖免疫グロブリン  
を含む、請求項 5 記載の抗体または抗原結合性フラグメント。

**【請求項 7】**

操作された酵母 N - 結合グリカンまたは C H O N - 結合グリカンでグリコシル化されている、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項記載の抗体または抗原結合性フラグメント。

**【請求項 8】**

抗体である、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項記載の抗体または抗原結合性フラグメント。

**【請求項 9】**

配列番号 1 ~ 1 6 および 2 1 ~ 2 4 からなる群から選択されるアミノ酸配列に対して少なくとも 8 0 % の配列同一性を含むアミノ酸配列を含むポリペプチド。

**【請求項 10】**

請求項 9 記載のポリペプチドをコードするポリヌクレオチド。

**【請求項 11】**

請求項 1 0 記載のポリヌクレオチドを含むベクター。

**【請求項 12】**

請求項 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項記載の抗体、フラグメント、ポリペプチド、ポリヌクレオチドまたはベクターを含む宿主細胞。

**【請求項 13】**

請求項 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項記載の抗体、抗原結合性フラグメント、ポリペプチド、ポリヌクレオチドまたはベクターを含み、医薬上許容される担体または希釈剤を含んでいてもよい組成物またはキットであって、もう 1 つの治療剤と組合されていてもよい、組成物またはキット。

**【請求項 14】**

請求項 1 ~ 8 または 1 3 のいずれか 1 項記載の抗体もしくはフラグメントまたは組成物もしくはキットと共に、抗原および医薬上許容される担体を含むワクチン。

**【請求項 15】**

請求項 1 ~ 1 1 、 1 3 または 1 4 のいずれか 1 項記載の抗体、抗原結合性フラグメント、組成物、ポリペプチド、ポリヌクレオチド、ベクターまたはワクチンを含む容器または注射装置であって、該容器または装置が、医薬上許容される担体または希釈剤を含んでいてもよい、容器または注射装置。

**【請求項 16】**

前記のもう 1 つの治療剤が、ワクチン、抗癌治療剤、免疫調節受容体のインヒビター、抗嘔吐物質、M T O R (ラパマイシンの哺乳類標的) インヒビター、細胞毒性物質、白金物質、E G F R インヒビター、V E G F インヒビター、微小管安定化剤、タキサン、C D 2 0 インヒビター、C D 5 2 インヒビター、C D 3 0 インヒビター、R A N K (核因子カッパ B の受容体アクチベーター) インヒビター、R A N K L (核因子カッパ B リガンドの受容体アクチベーター) インヒビター、E R K インヒビター、M A P キナーゼインヒビター、A K T インヒビター、M E K インヒビター、P I 3 K インヒビター、H E R 1 インヒビター、H E R 2 インヒビター、H E R 3 インヒビター、H E R 4 インヒビター、B c 1

2 インヒビター、CD22 インヒビター、CD79b インヒビター、Erbb2 インヒビター、ファルネシルタンパク質トランスフェラーゼインヒビター、抗PD-1 抗体またはその抗原結合性フラグメント、ペンブロリズマブ (pembrolizumab)、ニボルマブ (nivolumab)、CT-011、抗CTLA4 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗TIM3 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗CS1 抗体またはその抗原結合性フラグメント、エロツズマブ (elotuzumab)、抗KIR2DL1/2/3 抗体またはその抗原結合性フラグメント、リリルマブ (lirilumab)、抗CD137 抗体またはその抗原結合性フラグメント、ウレルマブ (urelumab)、抗GITR 抗体またはその抗原結合性フラグメント、TRX518、抗PD-L1 抗体またはその抗原結合性フラグメント、BMS-936559、MSB0010718C、MPDL3280A、抗PD-L2 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗ILT1 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗ILT2 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗CEACAM1 抗体または抗原結合性フラグメント、抗ILT3 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗ILT4 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗ILT5 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗ILT6 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗ILT7 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗ILT8 抗体もしくはその抗原結合性フラグメント、抗CD40 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗OX40 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗CD137 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗KIR2DL1 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗KIR2DL2/3 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗KIR2DL4 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗KIR2DL5A 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗KIR2DL5B 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗KIR3DL1 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗KIR3DL2 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗NKG2A 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗NKG2C 抗体またはその抗原結合性フラグメント、抗NKG2E 抗体またはその抗原結合性フラグメント、IL-10、抗IL-10、抗TSLP、PEG化IL-10、13-시스-レチノイン酸、3-[5-(メチルスルホニルピペラジンメチル)-インドリル]-キノロン、4-ヒドロキシタモキシフェン、5-デオキシウリジン、5'-デオキシ-5-フルオロウリジン、5-フルオロウラシル、6-メルカブトプリン、7-ヒドロキシスタウロスボリン、A-443654、アビラテロンアセタート (abiraterone acetate)、アブラキサン (abraxane)、ABT-578、アコルビフェン (acolbifene)、ADS-100380、アフリベルセプト (aflibcept)、ALT-110、アルトレタミン (altratamine)、アミホスチン (amifostine)、アミノグルテチミド (aminoglutethimide)、アムルビシン (amrubicin)、アムサクリン (amsacrine)、アナグレリド (anagrelide)、アナストロゾール (anastrozole)、アンジオスタチン (angiostatin)、AP-23573、ARQ-197、アルゾキシフェン (arzoxifene)、AS-252424、AS-605240、アスパラギナーゼ、AT-9263、ATI3387、アトラセンタン (atrasentan)、アキシチニブ (axitinib)、AZD1115、カルメットゲラン桿菌 (Bacillus Calmette-Guerin) (BCG) ワクチン、バタブリン (batabulin)、BC-210、BGJ398、ベソデュトクス (besodutox)、ベバシズマブ (bevacizumab)、ビカルタミド (bicalutamide)、Bio111、BIO140、BKM120、プレオマイシン、BMS-214662、BMS-247550、BMS-275291、BMS-310705、ボルテジミブ (bortezomib)、ブセレリン (busereolin)、ブスルファン (busulfan)、カルシトリオール (calcitriol)、カンブトテシン (camptothecin)、カネルチニブ (canertinib)、カペシタビン (capecitabine)、カルボプラチニン (carboplatin)、カルムスチン (carmustine)、CC8490、C

EAワクチン、セジラニブ( c e d i r a n i b )、CG - 1 5 2 1、CG - 7 8 1、クラミドシン( c h l a m y d o c i n )、クロラムブシル( c h l o r a m b u c i l )、クロロトキシン( c h l o r o t o x i n )、シレンジチド( c i l e n g i t i d e )、シミチジン( c i m i t i d i n e )、シスプラチン、クラドリビン( c l a d r i b i n e )、クロドロナート( c l o d r o n a t e )、コビメトニブ( c o b i m e t n i b )、COL - 3、CP - 7 2 4 7 1 4、シクロホスファミド、シプロテロン( c y p r o t e r o n e )、シプロテロンアセタート、シタラビン、シトシンアラビノシド、ダブラフェニブ( d a b r a f e n i b )、ダカルバジン( d a c a r b a z i n e )、ダシノスタット( d a c i n o s t a t )、ダクチノマイシン( d a c t i n o m y c i n )、ダロツズマブ( d a l o t u z u m a b )、ダヌセルチブ( d a n u s e r t i b )、ダサタニブ( d a s a t a n i b )、ダウノルビシン( d a u n o r u b i c i n )、デカタニブ( d e c a t a n i b )、デグエリン( d e g u e l i n )、デニロイキン( d e n i l e u k i n )、デオキシコホルマイシン( d e o x y c o f o r m y c i n )、デプシペプチド( d e p s i p e p t i d e )、ジアリールプロピオニトリル、ジエチルスチルベストロール( d i e t h y l s t i l b e s t r o l )、ジフチトックス( d i f t i t o x )、DNE03、ドセタキセル( d o c e t a x e l )、ドビチニブ( d o v i t i n i b )、ドキソルビシン( d o x o r u b i c i n )、ドロロキシフェン( d r o l o x i f e n e )、エドテカリン( e d o t e c a r i n )、イットリウム-90標識化エドトレオチド( e d o t r e o t i d e )、エドトレオチド、EKB - 5 6 9、EMD121974、エンコラフェニブ( e n c o r a f e n i b )、エンドスタチン( e n d o s t a t i n )、エンザルタミド( e n z a l u t a m i d e )、エンザスタウリン( e n z a s t a u r i n )、エピルビシン( e p i r u b i c i n )、エピチロン( e p i t h i l l o n e ) B、ERA - 9 2 3、エルビツクス( e r b i t u x )、エルロチニブ( e r l o t i n i b )、エストラジオール( e s t r a d i o l )、エストラムスチン( e s t r a m u s t i n e )、エトポシド( e t o p o s i d e )、エベロリムス( e v e r o l i m u s )、エキセメスタン( e x e m e s t a n e )、フィクラツズマブ( f i c l a t u z u m a b )、フィナステリド( f i n a s t e r i d e )、フラボピリドール( f l a v o p i r i d o l )、フロクスウリジン( f l o x u r i d i n e )、フルダラビン( f l u d a r a b i n e )、フルドロコルチゾン( f l u d r o c o r t i s o n e )、フルオキシメステロン( f l u o x y m e s t e r o n e )、フルタミド( f l u t a m i d e )、FOLFOXレジメン、フルベストラント( f u l v e s t r a n t )、ガレテロン( g a l e t e r o n e )、ガネテスピブ( g a n e t e s p i b )、ゲフィチニブ( g e f i t i n i b )、ゲムシタビン( g e m c i t a b i n e )、ギマテカン( g i m a t e c a n )、グルコピラノシリリピドA、ゴセレリン( g o s e r e l i n )、酢酸ゴセレリン、ゴシポール( g o s s y p o l )、GSK461364、GSK690693、HMR - 3 3 3 9、ヒドロキシプロゲステロンカプロアート、ヒドロキシウレア、IC87114、イダルビシン( i d a r u b i c i n )、イドキシフェン( i d o x y f e n e )、イホスファミド( i f o s f a m i d e )、IM862、イマチニブ( i m a t i n i b )、イミキモド( i m i q u i m o d )、IMC - 1 C 1 1、INC B 2 4 3 6 0、INC 2 8 0、INO1001、インターフェロン、インターロイキン2、インターロイキン12、イピリムマブ( i p i l i m u m a b )、イリノテカン( i r i n o t e c a n )、JNJ - 1 6 2 4 1 1 9 9、ケトコナゾール、KRX - 0 4 0 2、ラパチニブ( l a p a t i n i b )、ラゾホキシフェン( l a s o f o x i f e n e )、LEE011、レトロゾール( l e t r o z o l e )、ロイコボリン( l e u c o v o r i n )、ロイプロリド( l e u p r o l i d e )、酢酸ロイプロリド、レバミゾール( l e v a m i s o l e )、リポソーム封入パクリタキセル( p a c l i t a x e l )、ロムスチン( l o m u s t i n e )、ロナファルニブ( l o n a f a r n i b )、ルカントン( l u c a n t h o n e )、LY292223、LY292696、LY293646、LY293684、LY294002、LY3009120、LY317615、マリマstatt( m a r i m a s t a t )、メクロレタミン( m e c h

loretamine)、メドロキシプロゲステロンアセタート(medroxyprogesterone acetate)、メgestrolアセタート(megestrol acetate)、MEK162、メルファラン(melphalan)、メルカブトプリン(mercaptopurine)、メスナ(mesna)、メトトレキセート(methotrexate)、ミトラマイシン(mithramycin)、マイトマイシン(mitomycin)、ミトタン(mitotane)、ミトキサントロン(mitoxantrone)、トザセルチブ(tozasertib)、MLN8054、加熱殺菌マイコバクテリウム・オブエンス(*Mycobacterium obuense*)の懸濁液、ナチトクラックス(natitoclax)、ネオバstatt(neovastat)、ネラチニブ(neratinib)、ニューラジアブ(neuradiab)、ニロチニブ(nilotinib)、ニルチミド(nilutimide)、ノラトレキセド(nolatrexed)、NVP-BEZ235、オブリメルセン(oblimersen)、オクトレオチド(octreotide)、オファツムマブ(ofatumumab)、オレゴボマブ(oregovomab)、オルナツズマブ(ornatuzumab)、オルテロネル(orteronel)、オキサリプラチン(oxaliplatin)、パクリタキセル(paclitaxel)、パルボシクリブ(palbociclib)、パミドロナート(pamidronate)、パニツムマブ(panitumumab)、パゾパニブ(pazopanib)、PD0325901、PD184352、PEG-インターフェロン、ペメトレキセド(pemetrexed)、ペントスタチン(pentostatin)、ペリホシン(perifosine)、フェニ

ルアラニンマスターD(phenylalanine mustard)、PI-103、ピクチリシブ(pictilisib)、PIK-75、ピペンドキシフェン(pipeinoxifene)、PKI-166、プリカマイシン(plicamycin)、PLX8394、ポリ-ICLC、ポルフィマー(porfimer)、プレドニゾン(prednisone)、プロカルバジン(procabazine)、プロゲスチン(progestin)、PSK、PX-866、R-763、ラロキシフェン(raloxifene)、ラルチトレキセド(ralititrexed)、ラゾキシン(razoxine)、リダホリムス(ridaforolimus)、リツキシマブ(rituximab)、ロミデプシン(romidepsin)、RTA744、ルビテカン(rubitecan)、スクリプタайд(scriptaid)、Sdx102、セリシクリブ(seliciclib)、セルメチニブ(selumetinib)、セマキサニブ(semaxanib)、SF1126、シロリムス(sirolimus)、SN36093、ソラフェニブ(sorafenib)、スピロノラクトン(spirostanolactone)、スクアラミン(squalamine)、SR13668、ストレプトゾシン(streptozocin)、SU6668、スペロイルアナリド(suberoylanalide)ヒドロキサム酸、スニチニブ(sunitinib)、合成エストロゲン、タランパネル(talampanel)、タリモゲンラヘルパレブベック(talimogene laherparepvec)、タモキシフェン(tamoxifene)、テモゾロミド(temozolomide)、テムシロリムス(temsirolimus)、テニポシド(teniposide)、テスミリフェン(tesmifene)、テストステロン、テトランドリン(tetrandrine)、TGX-221、サリドマイド、6-チオグアニン、チオテバ、チシリムマブ(ticilimumab)、チピファルニブ(tipifarnib)、チボザニブ(tivozanib)、TKI-258、TLK286、TNF、トポテカン(topotecan)、クエン酸トレミフェン(toremifene)、トラベクテジン(trabectedin)、トラメチニブ(trametinib)、トラスツズマブ(trastuzumab)、トレチノイン(tretinoin)、トリコスタチン(trichostatin)A、トリシリビンホスファート(triciribine phosphate)一水和物、トリプトレリン(triptorelin)パモアート、TSE-424、ウラシル

マスターD、バルプロ酸、バルルビシン (valrubicin)、バンデタニブ (vandetanib)、バタラニブ (vatalanib)、VEGFトラップ、ベムラフェニブ (vemurafenib)、ビンプラスチン (vinblastine)、ビンクリスチン (vincristine)、ビンデシン (vinodesine)、ビノレルピン (vinorelbine)、ビタキシン (vitaxin)、ビテスパン (vitespan)、ボリノスタット (vorinostat)、VX-745、ウォートマンニン (wortmannin)、Xr311、ザノリムマブ (zanolimumab)、ZK186619、ZK-304709、ZM336372、ZSTK474、Z-100、カソピタント (casopitant)、ネツピタント (netupitant)、パロノセトロン (palonosetron)、アプレピタント (aprepitant)、ジフェンヒドラミン、ヒドロキシジン、メトクロプラミド (metoclopramide)、ロラゼパム (lorazepam)、アルプラゾラム (alprazolam)、ハロペリドール、ドロペリドール (droperidol)、ドロナビノール (ronabinol)、デキサメタゾン、メチルプレドニゾロン、プロクロルペラジン、グラニセトロン (granisetron)、オンドンセトロン (ondansetron)、ドラセトロン (dolasetron)、トロピセトロン (tropisetron)、G-CSF、PEG-G-CSF、エリスロポエチン、エポエチン (epoetin) アルファ、ダルベポエチン (darbepoetin) アルファ、ブルトンチロシンキナーゼ (BTK) インヒビター、前立腺特異抗原ワクチン、アザシチジン (azacitidine)、メシル酸エリブリン (eribulin)、メシル酸レンバチニブ (lenvatinib)、エパカドスタット (epacadostat)、抗4-1BBアゴニスト抗体または抗原結合性フラグメント、クリゾチニブ (crizotinib)、CSF1受容体キナーゼインヒビター、エンチノスタット (entinostat)、ビリナパント (birinapant) およびニラパリブ (niraparib) からなる群から選択されるメンバーである、請求項13記載の組成物またはキット。

#### 【請求項17】

請求項1～8のいずれか1項記載の抗体または抗原結合性フラグメントを含む、LAG3に対する拮抗を要するヒト患者においてLAG3に拮抗させるための医薬組成物。

#### 【請求項18】

請求項1～8のいずれか1項記載の抗体または抗原結合性フラグメントを含む対象における癌または感染症の治療のための医薬組成物であって、所望により治療手技および/またはもう1つの治療剤と組合せて、対象に投与される医薬組成物。

#### 【請求項19】

癌が、転移癌、固形腫瘍、血液癌、白血病、リンパ腫、骨肉腫、横紋筋肉腫、神経芽細胞腫、腎臓癌、白血病、腎移行細胞癌、膀胱癌、ウィルムス癌、卵巣癌、腎臓癌、乳癌、前立腺癌、骨癌、肺癌、非小細胞肺癌、胃癌、結腸直腸癌、子宮頸癌、滑膜肉腫、頭頸部癌、扁平上皮癌、多発性骨髄腫、腎細胞癌、網膜芽細胞腫、肝芽腫、肝細胞癌、黒色腫、腎臓のラブドトイド腫瘍、ユーイング肉腫、軟骨肉腫、脳腫瘍、神経膠芽腫、髄膜腫、下垂体腺腫、前庭神経鞘腫、原始神経外胚葉性腫瘍、髄芽腫、星細胞腫、退形成性星細胞腫、乏突起膠腫、上衣腫、脈絡叢乳頭腫、真性多血症、血小板血症、特発性筋線維症、軟部組織肉腫、甲状腺癌、子宮内膜癌、カルチノイド癌または肝臓癌、乳癌および胃癌からなる群から選択されるメンバーである、請求項18記載の医薬組成物。

#### 【請求項20】

請求項1～8のいずれか1項記載の抗体または抗原結合性フラグメントを含む医薬組成物であって、注射装置を使用して該抗体またはフラグメントを対象の体内に注射することによって対象に投与され、所望により、もう1つの治療剤または治療手技をも対象に投与される、医薬組成物。

#### 【請求項21】

請求項1～9のいずれか1項記載の抗体もしくはその抗原結合性フラグメントまたはポリペプチドの製造方法であって、

a . 該抗体もしくは抗原結合性フラグメントの免疫グロブリン鎖または該ポリペプチドをコードするポリヌクレオチドを含む宿主細胞を、該ポリヌクレオチドの発現に有利な条件下で培地内で培養し、

b . 所望により、該宿主細胞および / または培地から該抗体、抗原結合性フラグメントまたはポリペプチドを回収することを含む製造方法。

【請求項 2 2】

宿主細胞がチャイニーズハムスター卵巣細胞である、請求項 2 1 記載の製造方法。

【請求項 2 3】

請求項 2 1 又は 2 2 に記載の製造方法の産物である、L A G 3 に特異的に結合する抗体もしくはその抗原結合性フラグメントまたはポリペプチド。

【請求項 2 4】

請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項記載の抗体またはその抗原結合性フラグメントと L A G 3 ポリペプチドとの間で複合体を形成させるための方法であって、該抗体またはフラグメントと L A G 3 ポリペプチドとの結合に有利な条件下、該抗体またはフラグメントを L A G 3 ポリペプチドと接触させることを含む方法。